

# 大麦特報 (第2号)

平成23年10月  
富山市農業協同組合  
富山農林振興センター

大麦の苗立ちはおおむね良好で、順調に生育しています。

今後、年内の生育量を確保し、収量・品質を高めるため、「排水対策」を徹底するとともに、分施肥系ほ場では「年内追肥」を確実に行いましょう。

## 排水対策の徹底

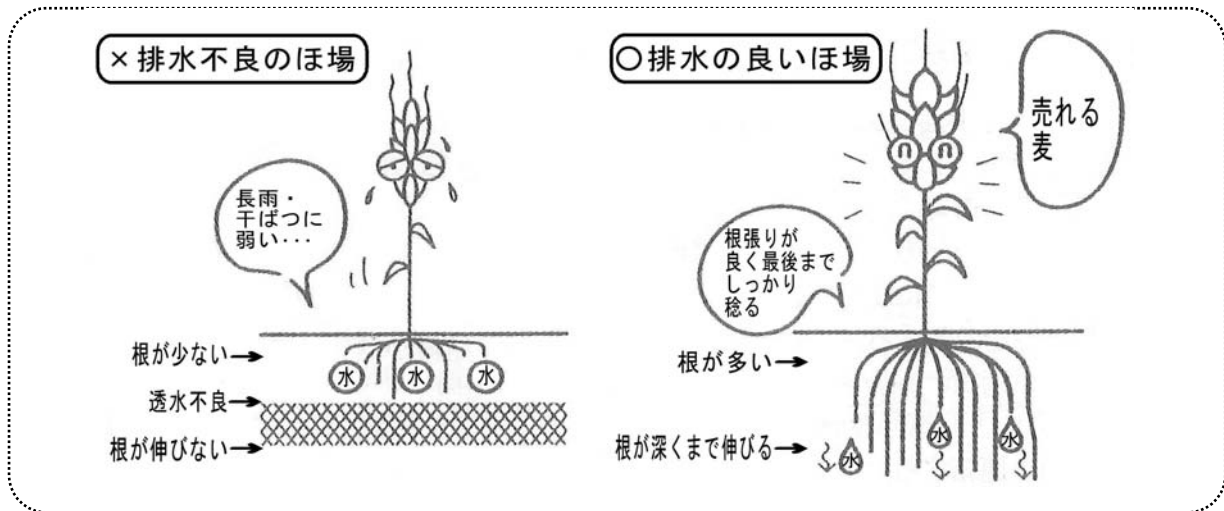
ほ場に水が溜まると根腐れ症状（湿害）が発生し、著しく生育不良となります。  
ほ場をこまめに点検し、適宜排水溝の手直しをしましょう。

### <チェック項目>

- ・ほ場内に水が溜まっていないか
- ・排水溝が土で埋まっていないか
- ・排水口から排水しているか

排水不良になっていたら…

速やかに溝の手直しや  
新たな排水溝を設けましょう!



## は種1ヶ月後追肥(年内追肥)の施用

年内追肥は、茎数の増加を促すとともに、穂数や収量の確保に重要な作業です。  
は種時期に応じて、遅れないように施用しましょう。

なお、大麦専用基肥一発肥料を使用している場合は、年内追肥の必要はありません。

### 【施用時期及び量の目安】

施用時期	肥料名	10aあたり施用量
11月上旬～中旬 (は種後1ヶ月頃)	硫安	20kg

※今後の生育状況により、年内2回目追肥の施用が必要となる場合は、特報でお知らせします。